



白河

広報

2

2015.2.1 No.111

■新たな門出の喜びを分かち合う「平成27年白河市成人式」
(白河地域／1月11日)

大きく膨らむ 20歳の夢

1月11日、成人式が行われ、本市では747人の方が大人の仲間入りをしました。今の二十歳の皆さんは、どのような目標に向かって頑張っているのでしょうか。今月号では、「大きく膨らむ20歳の夢」と題し、新成人4人のインタビューをお届けします。



あさひりょうた 浅比涼太さん (表郷三森)

誰からも頼られる人になりたい

「誰からも頼られる人になりたい」と話す浅比涼太さん。携帯電話の製造会社で購買業務を担当している浅比さんは責任感が強く、一日も早く上司や先輩から「お前なら大丈夫だ」と仕事を任されるのが目標です。そのため、上司や先輩の仕事を見て学び、知識などを習得することを、日々心掛けています。また、グローバルな会社であるため、今後は語学の勉強にも力を入

周りをよく見ながら行動したい

「自分の発言に責任を持ち、周りのことをよく見ながら行動する人になりたい」と話す白岩麻美さん。医薬品の製造工場で製品検査をしている白岩さん。働き出してから、責任感が芽生え、計画を立てて行動することで、上手に時間を使えるようになりました。

また、速さではなく正確さを大切に、一つひとつ丁寧に仕事をするように心掛けています。これからは、職場で必要な資格を取得したり、趣味を増やしたい、また、両親をそばで見守り、小学生から続けている大好きなバドミントンなどのスポーツができる環境が整っている白河に、住み続けたい、と思っています。

「将来、祖母や両親に子どもの顔を見せられたらいいなと思います」と話す白岩さん。優しさ高い志を持つ彼女から、白河の明るい未来を感じました。



しらいわまみ 白岩麻美さん (東釜子)



うすいゆりこ 薄井裕理子さん (舟田)

春からはパティシエとして頑張りたい

「パティシエになって、いつかはカフェを開きたい」と話す薄井裕理子さん。薄井さんがパティシエを目指したきっかけは、子どものころに母がよくお菓子を作ってくれたことと中学校での職場体験でした。職場体験で訪れたのは、市内の洋菓子店。不器用でできるか不安だった自分に店長が「大丈夫、何とかなるよ」と声を掛けてくれたのが励みとなり、そのときからパティシエになると決めてい

ました。その分野の専門学校に進み、製菓衛生師の資格を取得、4月からは職場体験をした洋菓子店に就職します。現在は専門学校での実習と就職先でアルバイトをしながら、お菓子作りの技術を磨いています。「ナチュラルな素材をいかしたお菓子を作りたいです」と明るい笑顔で話す薄井さん。作ったお菓子で、たくさんの人を笑顔にする日が楽しみです。

少しずつ自立していききたい

「親に迷惑を掛けたくないで少しずつ自立したい」と話す出田賢人さん。今回、成人式の実行委員長を務めました。「不安はありましたが、みんなに助けってもらったおかげで務めることができました。とても感謝しています」と周囲への感謝を口にしました。

夜勤がある工場で働く出田さんは、質問にすぐに答えてくれる今の上司のようになることが目標です。また、「友人はありのままの自分を見せられ、何でも相談でき信頼できる存在です」と語り、休日に友人と過ごす時間がリフレッシュになっています。家族への思いも強く、働き出して親のありがたみを改めて感じ、親孝行をしたいと考えています。「自立するため、料理にも挑戦したいです」と優しい笑顔で話す賢人からは、家族や友人への感謝の気持ちが伝わってきました。



でたけんとう 出田賢人さん (大信隈戸)

項目	内容
設置目的	市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の主体的な芸術文化活動を奨励し、芸術文化団体の育成およびネットワークづくりを行うことにより、芸術文化の振興および市民の交流と活力あるまちづくりに寄与するため設置する。
休館日	毎週火曜日、年末年始（臨時変更可能）
開館時間	午前9時～午後10時（臨時変更可能） ※午後8時以降の利用が無い場合は午後8時まで
受付時間	午前9時～午後8時
利用区分	●ホール（本番） 午前9時～正午、午後1時～5時、午後6～10時 ●楽屋等（単独利用） 午前9時～午後10時の間で時間単位
利用料金	利用者負担や近隣施設とのバランスに配慮した料金にしています。
減免	市内の学校等または学校等が組織する団体が、授業または入場料を徴収しない大会・発表会等として利用する場合は全額免除

Interview

新しい楽しみへの扉を開いてくれる

文化や芸術と言うと少し敷居が高く聞こえるかもしれませんが、ここは市民の誰もが気軽に触れられる場になると思います。今まで興味が無かった方にとっても、新しい楽しみへの扉を開いてくれる場所となるに違いありません。そして、観客としてだけでなく表現者にもなることができる場。世代や職種を越えた市民の交流が生まれ、白河のまちが生き生きと輝きだす。白河から市外、県外、世界へとメッセージを



Jumonji Ritsuko
十文字律子さん
運営管理検討委員

発信する拠点となる。そんな希望とともに、白河文化交流館が生まれます。

愛称募集!

白河文化交流館が、身近で親しみのある施設になるよう愛称を募集します。詳しくは、19ページの「きょういくホット情報」をご覧ください。

●**基本方針** ▼市民の芸術文化活動の支援と新しい文化の創造 ▼伝統文化の継承と革新 ▼次世代を担う若い人材の育成 ▼鑑賞機会の創出 ▼地域活力の向上

●**具体的な取り組み**

《普及・育成事業》
文化活動を行っている個人や団体を支援・育成するための事業や、新たに文化活動に親しむ市民を増やしていくための事業を行う。

《地域発信事業》
白河の歴史的・文化的な地域資源を次世代へと継承する事業や、新たな地域ブランドを創造する事業を行う。

《鑑賞事業》
優れた作品に親しみ、芸術文化の素晴らしさを発見する機会を創出する事業を行う。

《賑わい創出事業》
芸術文化活動だけでなく、

《連携事業》
既存の文化施設や公共施設、近隣の文化施設など、市内外のような機関や団体と共同で事業を行う。また、ほかのイベント等と組み合わせることで、誘客促進を図る。

《参加交流事業》
芸術文化活動を行ってきた個人や団体だけでなく、市民の皆さんが参加でき、芸術文化を体験できる事業を行う。

《組織計画》
組織計画の基本方針は次のとおりです。

●**基本方針** ▼安定的かつ柔軟性を持った運営主体（指定管理者制度の導入） ▼専門家の登用と地域人材の確保・活用（プロデューサー・アドバイザー等の登用） ▼様々な形態での市民参加・市民参画（友の会・ホールボランティアの設置）

▼**収支計画**
収支構造にあわせ、各経費の試算の考え方を示しています。

※運営管理計画の詳細は、ホームページをご覧ください。
◎本庁舎文化振興課 ☎111-2387

◎「白河文化交流館」の運営管理計画

平成28年度にオープン予定の新しい市民文化会館の名称が「白河文化交流館」に決まりました。今月号では、白河文化交流館の運営管理計画の概要と設置条例の内容をお知らせします。



名称決定!!
白河文化交流館

●**運営管理計画策定の目的**
運営管理計画は、開館後の運営がスムーズに行えるよう基本理念や事業計画、組織計画、収支計画などを定め、文化交流館が市民の皆さんにとって、気軽に芸術文化に親しめる施設にすることが目的です。

●**基本理念**
本市は歴史と伝統が息づくまちです。松平定信公が「身分の分け隔てなく共に楽しむ」という思いで南湖をつくったように、誰もがいつでも

●**事業計画**
安らぎや活力の源、地域コミュニティの形成、地域振興など、芸術文化が果たす役割は数多くあります。これらを踏まえた事業計画の基本方針と具体的な取り組みは次のとおりです。

ここに訪れられ、共に楽しむことが出来る施設を目指し「市民共楽」を基本理念としています。

「市民共楽」のマーク

Interview

子どもから高齢者まで楽しく

「市民が親しみ、学び、ふれあう場所」というコンセプトのとおり、カギガタモールを利用しての待ち合わせや、世間の喧騒から離れた雰囲気を楽しむなど、気軽に利用できる憩いの場となるよう期待しています。また、大ホール、小ホールに限らず、中庭でのサロンコンサートや、子どもたちの学びの場としてアウトリーチ（出前公演）なども行うことができ、子どもから高齢者までが楽しめる場所として、だれもが一度は行ってみたいと思えるような施設になることを願っています。



Asakawa Naomi
浅川なおみさん
運営管理検討委員



オリジナル曲修得のため、技術指導を受けている様子。3月の「ふれあい春の集いin表郷」などのイベントなどで演奏する予定です。

オリジナル太鼓曲作曲、技術指導会事業

以前、信夫二小で和太鼓の発表会があり、その姿に感動した保護者を中心になって「大信こだま太鼓」を結成しました。現在、会員が大信地域全域に拡大し、自分たちのオリジナル曲を作りたいと思うようになりました。曲は、大信のシンボル「聖ヶ岩」を題材に、作曲は以前から太鼓の指導をしていた（株）まつり工房（長野県伊那市）の北原永氏に依頼しました。技術指導を受け、12月にオリジナル曲「聖」が完成しました。今後は、曲と一緒に成長しながら知名度を上げ、聖ヶ岩のPRと地域交流につなげていきたいです。



大信こだま太鼓
代表 高橋克さん



ペットボトル灯ろうの表面に張る絵は、地区の子供会に依頼。夏休み中に各地区で行われる勉強会の中で、250本の灯ろうを作成しました。

地域活性化・子供達に郷土愛継承事業

「釜子納涼盆踊り」は、100年以上続く伝統行事です。近年、参加者が減少していたため、伝統を継承していくには、盆踊りに参加してもらわなければならないと考え、開催時に合わせイベントを行うことにしました。子どもたちによる「ペットボトル灯ろう」の展示や、3日連続で来場した方に買物券を提供する「3Dパスポート」等を行い、多くの参加が得られました。また、事前に踊りの練習会を行い、交流を図ることができました。補助は今年で最後になりますが、今後も伝統を絶やさぬよう、アイデアを出しあい盛り上げていきたいです。



釜子商店会
代表 吉島一喜さん

■地域づくり活性化支援事業事例紹介

地域の特性をいかし活性化

市では、地域の課題を解決し、活性化を図るため、地域の皆さんが自ら考え取り組む事業に対し、活動経費の一部を補助しています。今月号では、各地域の中から1団体に焦点を当て、事業への思いや意気込みなどを紹介します。

☎本庁舎地域支援課 ☎21111 内2256
各庁舎地域振興課 表郷 ☎21111 大信 ☎462111 東 ☎342111



盆踊り大会では、本沼自治会各区分が出店や警備等に協力。ポスターやちらしなど、PRに力を入れたことで、当日は多くの人でにぎわいました。

本沼伝統文化保存継承事業

本沼など大沼地区の「盆踊り大会」は、地区内の各自治会青年部が中心になって持ち回りで開催していましたが、最近では、若者の減少などで行っていないことが多くなり、地域のつながりやきずな、伝統が失われるのではないかと、盆踊りが中心になり再開しました。盆踊りのほかにも、無病息災を祈願する「どんと焼き祭」や豊年満作を祈る「舞込んだ祭」を実施しました。踊りや作法を子どもにも教えることで、世代間や地域の交流が図れました。今後は、様々な意見を基に誰もが楽しめる祭りを目指しながら続けることで、地域の活性化につなげていきたいです。



本沼伝統文化保存会
会長 丸山邦英さん



福幸市は年に4回開催。12月7日の市では、大槌町の新巻鮭で粗鮭を作り提供しました。来場者から「毎回楽しみです」などの声が聞かれました。

表郷復興プロジェクト事業

震災以降、表郷地域に以前ほどの活気が無いように感じたので、地域に元気を取り戻そうと「福幸市」を行うことにしました。福幸市では、地元産品の販売ブースを設けたほか、ボランティア活動で知り合った被災地の方々のパネルを展示し、その土地の特産品を販売するなど、復興のお手伝いをしました。また、多くの方に地域の活動を知っていただくため、機関誌の発行も行いました。地域を明るく元気にするには、人と人とのつながりが大切です。イベントなど様々な活動を続けることで、地域を元気にしていきたいです。



NPO法人表郷ボランティアネットワーク
代表 沼田浩一さん

白河市地域づくり活性化支援事業

地域の特性をいかした自発的な取り組みで、地域活力の向上につながる事業に、活動資金の一部を補助します（補助率は、事業経費の3分の2以内で、50万円を限度）。

ただし、国・県などから支援を受けていたり、政治、宗教、営利目的であったり、物品の購入や委託の経費が大半を占める事業は助成の対象になりません。詳しくはお問い合わせください。

平成26年度に採択された事業

白河地域

- 白河歴代藩公行列事業
- 第2回家族のきずなエッセイ募集事業
- 本沼伝統文化保存継承事業
- 地域協働災害ボランティアネットワーク構築事業
- 再生可能エネルギー導入推進市民啓発事業
- 子育て家族の居場所事業

大信地域

- 赤い田園の里創り事業
- オリジナル太鼓曲作曲・技術指導会事業
- 隈戸川音頭保存事業

表郷地域

- 手作り絵本で復興応援事業
- 表郷復興プロジェクト事業
- 絶滅危惧種「ビャッコイ」保全研究事業
- 深渡戸地区伝統行事の復活事業
- 地区伝統行事の復活事業
- 未来へ続け「いきいき生け花」体験教室事業

東地域

- 地域活性化・子供達に郷土愛継承事業
- 野出島の里づくり事業
- 琴平相撲復活祭事業

税

申の 告

- **期間**
2月6日(金)～3月16日(月)
※平日のみ
- **時間**
午前の部 9時～11時30分
午後の部 1時～4時30分
- **会場**
白河地域＝本庁舎5階正庁
表郷地域＝表郷庁舎2階大会議室
大信地域＝大信農村環境改善センター
東地域＝東農業技術センター2階
(東庁舎隣り)
- **本庁舎課税課** ☎21111 内2127・2128・2129 / 各庁舎地域振興課
表郷 ☎32112 大信 ☎462113 東 ☎342112

申告が必要な方

市役所で申告が必要と思われる方には、1月下旬に案内を送付しました。なお、指定された日時に来庁できない場合は、期間中の都合の良い日にお越しください。

案内がなくても申告が必要な方

平成27年1月1日現在、本市に住民登録がある方で、次のような方は申告が必要となる場合がありますので、ご確認ください。

- 無収入で、本市に住民登録がある家族の扶養になっていない方
- 前年中に仕事を辞めた方や新たな収入があった方

市役所での申告が必要のない方

- 税務署で申告される方
- 給与収入だけで年末調整が済んでいる方
- 本市に住民登録がある家族の扶養になっている方
- 税理士へ申告の依頼をしている方

Point

申告はとても大切です！

申告をしないと、所得・課税証明書などの各種証明書の発行、無収入などの場合の国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の軽減措置、所得に応じた介護保険料の決定などが適正にできなくなります。該当する方は、必ず申告をしてください。

申告に必要なもの

- ① 印鑑
- ② 平成26年分の源泉徴収票（給与、年金収入の方）
- ③ 平成26年中の収入、必要経費をまとめた帳簿（個人で事業、農業などをしていた方）
- ④ 平成26年中の生命保険料・地震保険料などの控除証明書、健康保健・年金・寄附金などの領収書や証明書、医療費の領収書など（必ず集計をしてご持参ください）
- ⑤ 障がい者控除を受ける方は、障がい者手帳など
- ⑥ 本人の口座番号が分かるもの（通帳・キャッシュカードなど）
※ 還付（納め過ぎた所得税を本人に返すこと）を受ける際に必要です。

Point

納付額が分からない場合は？

国民年金保険料で、領収書などを紛失し、納付額が分からない場合は、日本年金機構白河事務所（郭内）で納付額の証明を受けることができます。

- 日本年金機構白河年金事務所 ☎4161（自動音声応答案内の指示に従ってください）

※ インフルエンザ予防のため、申告会場では職員がマスクを着用して対応する場合がありますので、ご理解をお願いします。また、来場される際には、感染予防のご協力をお願いします。

白河税務署からのお知らせ

税務署では、平成26年分の申告書作成を次の会場で実施します。

■ 申告書作成会場

市産業プラザ人材育成センター2階（中田）

■ 開設期間・時間

2月2日(月)～3月16日(月) / 午前9時～午後4時（平日のみ）

※ 期間中は、税務署には申告会場を設置していませんのでご注意ください。開設期間以外は税務署が申告会場になります。また、午後3時以降は申告会場が混雑する傾向にありますので、なるべく早い時間帯にお越しください。

■ 自書申告の推進

会場では、申告納税制度の趣旨から、ご自分で申告書等を作成していただく体制をとっていますので、ご協力をお願いします。また、申告書は、郵便・信書便またはe-Taxでも提出することができます。

震災による雑損控除等を申告される方へ

市役所本庁舎・各庁舎での申告相談は混雑が予想されます。震災による雑損控除の繰越損失のある方や、雑損控除の申告手続きが済んでいない方の申告相談は、白河税務署で行います。

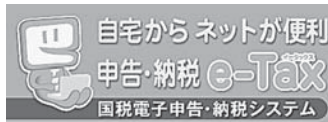
それぞれの事情をお聴きしながら計算するため、一般的な申告相談に比べて時間が掛かりますので、相談はお早めをお願いします。

- 白河税務署 ☎7111（自動音声応答案内の指示に従ってください）

インターネット確定申告

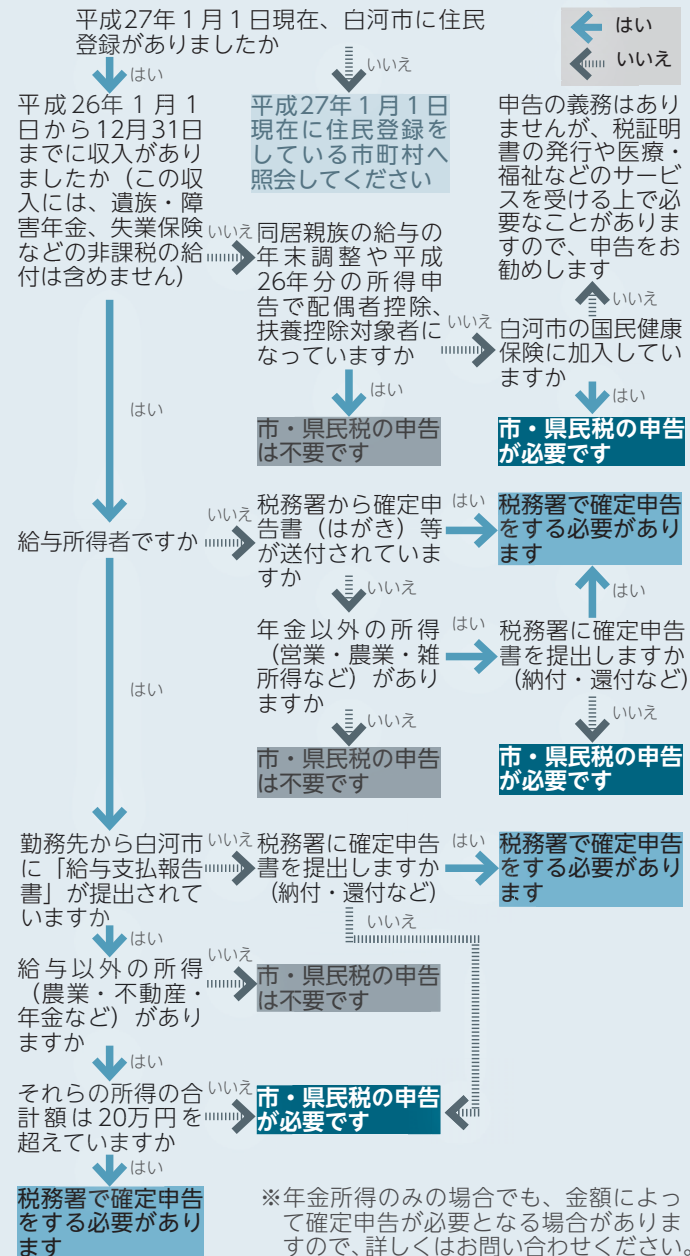
パソコンをお持ちの方は、国税庁ホームページ「確定申告書作成コーナー」で申告書等を作成することができます。

また、国税電子申告・納税システム（e-Tax）を利用すると自宅や事務所からインターネットを利用した申告書等を作成することができます。ただし、事前に手続きが必要です。詳しくは国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）をご覧ください。



申告の期限は3月16日(月)までです。申告が必要な方は、忘れずにお願いします。

申告が必要か確認してみましょう！





小峰城石垣再生への歩み

搦手門跡石垣の積み直しを開始

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310



▶調査・解体が終了した搦手門跡

▶写真と比較しながらの石積み作業

小峰城の北端に位置する搦手門跡石垣の解体が終了し、昨年12月から積み直し作業が始まりました。作業は、できるだけ正確に元の姿に修復するよう、震災前の写真と比較しながら慎重に進めています。

積み直す石材（震災で崩れ落ちた石材や今回の工事で解体した石材）は、事前に再利用が可能なかどうかの判定や特徴の観察、大きさの計測などを行いました。今回の調査で、江戸時代に少なくとも三度、積み替えが行われていたことが確認できました。

搦手門跡の石垣をはじめ、これまで行われた石垣の解体・調査で、修復の歴史や特徴などが徐々に明らかになってきています。

本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。



地域の野菜を食べて気軽に健康づくり

～いきいきと健やかで明るい笑顔があふれるまち～

市では、市民の皆さんに地域産の野菜などに関心を持ち、食べて健康になってもらうため、関係機関と連携して健康レシピメニューの開発を行っています。今月号では、市内の新たな取り組みをお知らせします。

本庁舎商工課 ☎1111 内2246

地域に根差した健康メニュー

地域の農産物を活用した健康づくりを推進する事業などに対し、農林水産省では「医福食農連携事業」として補助をしています。これを活用し、県立医科大学医学部長の錫谷氏をはじめ、地域の管理栄養士、食品関連事業者、農業生産者など各分野の専門家と市が連携して白河医福食農連携推進協議会（吉田孝二会長）を立ち上げ、農産物を活用した健康レシピメニューの開発を行っています。



地域には栄養価が高く様々な効果がある優れた野菜が豊富にあります。収穫してから時間がたつほど味や効果が落ちると言われています。そのため、採れた野菜を各家庭で素早く調理して食べることで、健康に必要な栄養素を多く取り入れることができるよう、「気軽に・楽しく」続けられる健康レシピメニューの提案も行うこととしています。

Interview

健康長寿を目指して

不適切な食事は、生活習慣病の原因になることが知られています。白河市民は全国平均に比べ、高血圧や糖尿病の人が多くという統計があります。これらは、カロリーや塩分の取り過ぎと密接に関係していて、まさに不適切な食事が引き起こす疾患です。



白河医福食農連携推進協議会
副会長 錫谷達夫さん
(県立医科大学医学部長)

また、原発事故後、子どもたちの運動不足が顕著で、福島県は全国でも肥満の子どもの多い傾向になっています。このような生活習慣病予備軍の増加を抑え、健康長寿を実現するため、地域の食材を使った正しい食事の提案に取り組んでいきます。

Information

健康レシピメニュー説明会

地域の農産物を使用した健康レシピメニュー説明会を開催します。また、泉崎村出身で料理研究家の本田よう一氏を特別ゲストに迎え料理講習会も行います。

野菜をたっぷり使い、素材の味をいかした味付けで、だれもが楽しめるレシピを学んでみませんか。



- 日時 3月15日(日)午後1時30分～3時30分
- 会場 中央保健センター（北中川原）
- 定員 100人 ※事前に申し込みが必要です。
- 入場料 無料
- 申込期間 2月5日(木)～3月5日(木)
- 申し込み・問い合わせ先
白河医福食農連携推進協議会事務局（株）しらかわ五葉倶楽部内 ☎8491



歴史と伝統を活かしたまちづくり「れきしら広報白河編」! vol. 5

本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2747

歴史を知ろう

春の訪れを告げる「白河だるま市」

立春を過ぎた2月11日(祝)、まだ厳しい寒さが残る白河のまちは、伝統行事「白河だるま市」のにぎわいに包まれ、春の訪れを感じ始めます。

だるま市は、天神町・中町・本町の旧奥州街道沿いの約1.5kmで行われます。当日は、約700店の露店が立ち並び、縁起物の白河だるまなどを買い求めようと、約15万人の人が訪れます。

今回は、この「白河だるま市」の由来を紹介いたします。



市神祭が白河だるま市に

だるま市のルーツを探ると、白河結城氏が治めていた中世にたどり着きます。史料によると、白川城西側の八竜神地区周辺に「五日市場」、「十日市場」の地名があり、5と10のつく日に「市」が行われていたものと推測されます。

寛永4年(1627)に白河藩が成立し、初代藩主の丹羽長重によって、小峰城と町屋の大改修が行われました。町屋は、小峰城をカギ型に取り囲むように築かれ、奥州街道沿いの天神町、中町、本町、横町、田町は、「通り五町」と呼ばれました。通り五町ではそれぞれに「市」が行われ、武家や町民、周辺農村の人たちでにぎわいました。

特に盛大に行われたのが、年初めの市の神をまつる中町の「市神祭」でした。縁起物の正月飾りなどが売られ、そのほかにも、造花が売られたことから「花市」とも呼ばれました。後に、売り物の中心がだるまとなり「だるま市」と呼ばれるようになりました。



新春市民交歓会

「がんばろう」三唱でさらなる飛躍を誓う

1月5日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で「新春市民交歓会」が開催され、約520人が参加しました。

主催者のあいさつで始まり、来賓祝辞、叙勲等受章者の紹介、白河謡曲会好謡会が祝謡を披露。続いて、ダルライザー、小峰シロ、しらかわんの市公認キャラクターと、表郷商工会のおもてんくん、ひがし商工会のきつねっこの5体が、主催者や来賓とともに鏡開きを行いました。

結びに、全員で「がんばろう」を三唱し、1年の飛躍を誓いました。



▲「がんばろう」を三唱する参加者

市立図書館利用促進講演会

絵本や絵かき歌でみんなが笑顔に

1月10日、市立図書館りぶらん（道場小路）で「もったいないばあさん」シリーズや「おべんとうバス」で著名な絵本作家、真珠まりこさんを招き、「もったいないばあさんのおはなし会」と題した講演会が開催されました。

真珠さんは、自分が著作した絵本の読み語りでも子どもたちを喜ばせたほか、「もったいないばあさんのえかきうた」や「もったいないばあさん音頭」を流し、会場は笑顔であふれていました。



▲真珠さんの話に聞き入る参加者

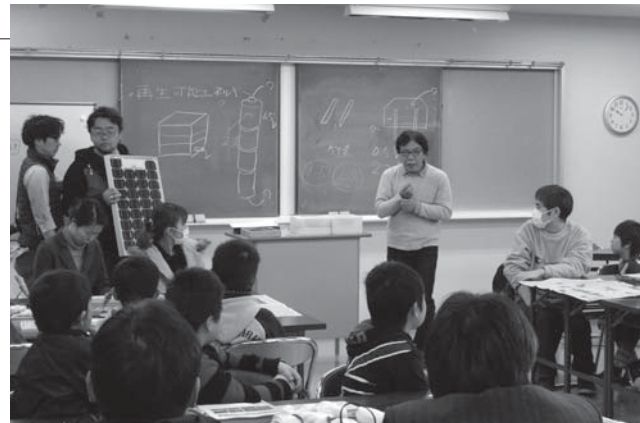
作っちゃお！太陽光パネル

電気の大切さを身を持って学ぶ

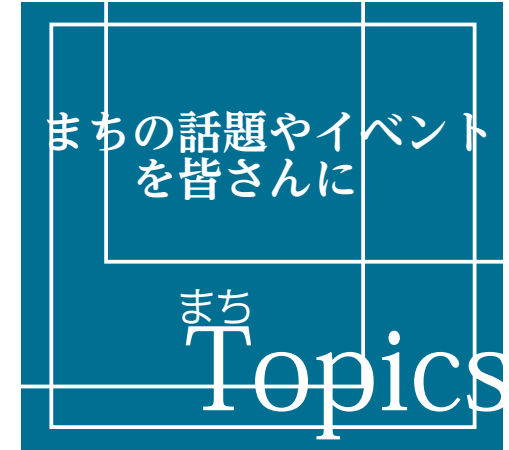
12月21日、産業プラザ人材育成センター（中田）で、太陽光パネルを製作するイベントが開催され、小学3年生から6年生11人が参加しました。

講師の島村守彦さん（いわきおてんとSUN企業組合）が、太陽光パネルが発電する仕組みを説明、続いて、児童たちが指導を受けながらパネルを製作しました。

太陽光という身近な再生可能エネルギーを体験した児童たちは、電気を生み出すことの大変さを身を持って学んでいました。



▲島村さんの説明を聞く児童たち



▲小峰通りをパレードする様子

白河市消防団出初式

防火・防災の決意を新たに整然とパレード

1月4日、消防団出初パレードと出初式が行われ、約800人の消防団員が参加しました。

パレードは、火災予防の啓発を兼ね、本町から中町、小峰通りを経て市民会館までの約1kmの道のりを消防団員が整然と行進、頼もしい姿を披露し、統監の鈴木市長が見守りました。

市民会館（手代町）で行われた式では、鈴木市長が「市民の安全安心のため精励してほしい」と訓示、鈴木肇白河方面隊長が「消防団の任務の重要性を再認識してほしい」とあいさつし、団員は防火・防災の決意を新たにしていました。また、式に先立ち、消防車両等の引き渡し式も行われました。



▲出初式の様子

4公民館合同活動「ウィンタースポーツ体験」

スケートを楽しみながら交流を深める

12月24日、磐梯熱海アイスアリーナ（郡山市熱海町）で「ウィンタースポーツ体験」としてスケート教室が開催され、80人の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、意欲的にインストラクターからの指導を受け、転びながらも真剣に取り組み、最後には、みんなが立って滑ることができるようになりました。

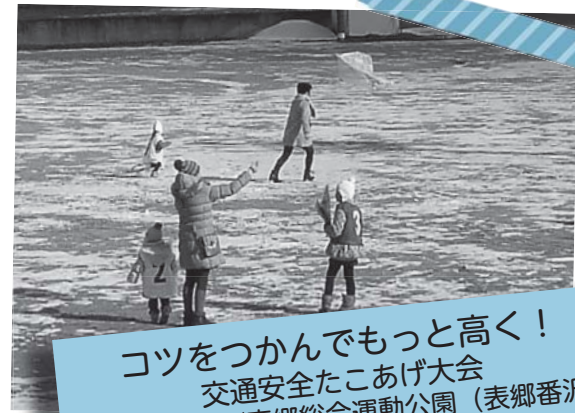
この活動は年に4回、4地域の公民館が合同で開催していて、子どもたちの交流を深めるきっかけになっています。



▲楽しく練習する子どもたち



みなさんのお越しをお待ちしています
白河だるま市 (2月11日) PRキャラバン
1月22日/福島県庁 (福島市杉妻町)



コツをつかんでもっと高く!
交通安全たこあげ大会
1月12日/表郷総合運動公園 (表郷番沢)



表郷地域
表郷庁舎 (表郷金山)



白河地域
市民会館 (手代町)



県南地方の「おいしい」が勢ぞろい
よってがし しらかわ食・人フェア2015
1月10日・11日/ヨークベニマルメガステージ白河店



それぞれの願いを込めて
伝統行事継承「団子さし」
1月15日/大屋小



東地域
東文化センター (東釜子)

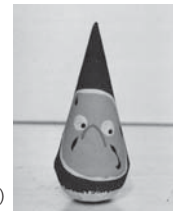


大信地域
大信農村環境改善センター (大信町屋)

施設の催し

▶歴史民俗資料館 (中田7-1 / ☎@2310)

- 【利用案内】
- ◆開館時間 午前9時～午後4時
- ◆休館日 毎週月曜日
- ◆入館料 無料
- 【催し案内】
- ◇平常展示 「白河の歴史と文化」



三角だるま (新潟県)

※2月22日(日)までは「白河だるまと各地のだるま」、2月24日(火)から3月15日(日)までは「江戸～昭和時代のひな人形」の展示コーナーを設けています。

▶白河集古苑 (郭内1-73 / ☎@5050)

- 【利用案内】
- ◆開館時間 午前9時～午後4時
- ◆休館日 毎週月曜日
- ◆入館料 大人320円 (250円) / 小中高生100円 (80円)
- ※()は20人以上の団体料金
- ※毎週土曜日は小中高生無料

- 【催し案内】
- ◇阿部家名品館

【阿部家伝来の遺宝と茶道・調度】

- 会期 3月22日(日)まで



黒漆塗丁子風炉および黒漆塗丁子風炉台

- ◇結城家古文書館 「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」開催中

- ▶総合運動公園 (北中川原30 / ☎@8971)
- 《スポーツ教室》

参加料を添えて、中央体育館にお申し込みください。電話での受け付けはできません。

◇キッズ (U-9) サッカークリニック教室

- 日時 3月7日・14日 土曜日 計2回/午後1時30分～3時30分

- 場所 国体記念体育館(北中川原)
- 対象 幼稚園年長相当～小学3年生 30人 ※先着順

- 参加料 1,500円
- 申込期間 2月20日(金)～27日(金)
- ☎NPO法人白河市体育協会事務局 ☎@8655

- ▶市民会館 (手代町22-1 / ☎@3718)

◇市民会館自主事業オープニング・プレ企画「講演とレクチャー・コンサート」

- 日時 3月1日(日)/午後2時から
- 入場料 無料 ※要整理券
- ☎NPO法人カルチャーネットワーク (市民会館内) ☎@3718

◇ハイスクール劇王 高校生短編演劇競技大会 (プレ大会)

- 日時 3月7日(土)/午後1時から
- 入場料 無料
- ☎NPO法人カルチャーネットワーク (市民会館内) ☎@3718

- ▶文化センター (中田140 / ☎@5220)
- ◇白河シネマパラダイス

映画「チョコレートドーナツ」上映会

- 日時 3月7日(土)/①午前10時から ②午後2時から ③午後6時から
- 入場料 前売1,000円 (当日200円増)
- ☎白河シネマパラダイス運営委員会 ☎@5271

▶東文化センター (東釜子字狐内47 / ☎@1131)

- ◇東文化センター自主事業
- 映画「チョコレートドーナツ」上映会
- 日時 3月8日(日)/①午前10時から ②午後2時から
- 入場料 前売1,000円 (当日200円増)
- ☎NPO法人カルチャーネットワーク (東文化センター内) ☎@1131

ほんこのころも

作 本町かずこ

風邪のときは



サビ色でも旨いよ! 風邪に気をつけてね

■話題 Report



価格は870円。なお、下り線では「白河高原清流豚のスタミナ丼」(870円)が提供されています。

阿武隈PAが2年連続で決勝大会進出!! 白河高原清流豚の豚唐みぞれ丼

阿武隈パーキングエリア上り線(泉田)で提供されている「白河高原清流豚の豚唐みぞれ丼」は、白河ブランドの白河高原清流豚(肴肉の秋元)を使用したボリューム満点の丼ぶりです。唐揚げにした豚肉と大根おろしがご飯にのっけて、オリジナルの甘酢タレが食欲をそそります。
現在開催中の、NEXCO東日本エリア内サービスエリア・パーキングエリア149店舗(9ブロック)で競う「第2回NEXCO東日本どんぶり王座決定戦」に出場し、宮城・福島ブロック28店舗の中から、地域代表として決勝大会に進出する2店舗のひとつに選ばれました。なお、同パーキングエリアの決勝大会出場は2年連続となります(昨年は下り線のミルフィーユかつ丼が出場)。
決勝大会は、3月18日に東京都世田谷区で行われる予定で、各ブロック代表の全11店舗の中から第2回王者が決まります。

善意の窓



星空と谷津田川の写真

12月15日、銀河浴写真家の佐々木隆さん(写真中央)から、星空と紅葉時の谷津田川を撮影した写真が寄贈されました。写真は本庁舎3階に展示されています。(写真右は古川雅裕さん)。



正面玄関を飾る門松

12月17日、篠宮勝美さん(白坂、写真右)から、大型の門松一対が寄贈され、正月期間中、本庁舎正面玄関に飾られました。なお、門松は中央公民館にも寄贈されました。

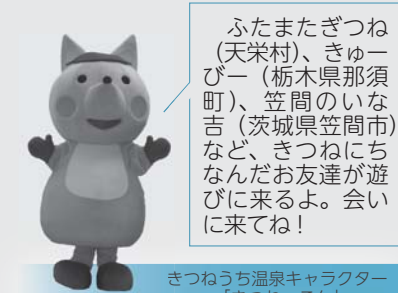
■施設 Information

きつねうち温泉がオープン

3月1日、きつねうち温泉(東釜子)がリニューアルオープンします。当日は、セレモニーと記念イベントを行いますので、ぜひお越しください。

▶日時 3月1日(日) / 午前8時30分から

- 会場 きつねうち温泉(屋内・外ステージ)、東文化センター
- 入場料 無料(屋内ステージは入館料がかかります)
- 内容
 - ▷屋外ステージ セレモニー(午前8時30分)、ロープアークエスト・カプリオール(午後1時)▷東文化センター 妖怪ウォッチジパニャンバラエティショー(①午前11時、②午後2時)▷屋内ステージ 漫才「母心」(午後3時)



ふたまたぎつね(天栄村)、きゅーぴー(栃木県那須町)、笠間のいな吉(茨城県笠間市)など、きつねにちなんだお友達が遊びに来るよ。会いに来てね!

きつねうち温泉キャラクター「きつねっこん」

☎(株)ひがし振興公社(きつねうち温泉内) ☎1126

.....リニューアルの概要.....

- 露天風呂を新設
- 燃料の変更(環境に配慮しバイオマス燃料を使用)
- 浴室・サウナ・脱衣所・ステージ付き大広間を拡張
- 仮眠室、マッサージルームを新設(ラウンジ中2階)
- 食事メニューの一新(ほか)



女性用露天風呂(イメージ)

露天風呂、始めました

ちょっといいなし



赤十字救急車を配備

日赤東分区(東庁舎内)に、赤十字救急車が配備されました。災害時の救援物資の配布やボランティア活動のほか、福祉活動などに活用されます。



復興を願う大鏡餅

12月17日、市公設市場の白河青果(株)(菊池俊一郎社長、写真右)から、二段重ねで重さ49.70kg(よくなれ)の大鏡餅が寄贈され、正月期間中、本庁舎1階ロビーに飾られました。



2万個のチューリップ球根

12月25日、フラワーワールド(和知繁蔵社長)から、チューリップの球根2万個が寄贈されました。この球根は、市内の幼稚園、小・中学校に配付されました。



高校受験合格を願う祈願米

1月15日、JA東西しらかわ(鈴木昭雄代表理事組合長)から、同JA管内にある表郷中の3年生に、山本不動尊(棚倉町)で高校受験合格を祈願した「みりよく満点米」(同JAブランド)が寄贈されました。

特色ある活動を紹介

各幼稚園や学校で行っている特色ある活動を紹介します。今回は、大信中学校です。

育つ喜びかみしめて

鉄は打て打て熱いうち 夢は抱け抱け若いうち

これは、校歌の一節で、学校のスローガンになっています。感受性が豊かな中学校時代に多くの体験活動することは、その後の人間性を豊かにしていきます。

地域の教材を生かした教育活動を進めています

毎年、「体験活動の日」を設け、地域の教材を生かした教育活動に取り組んでいます。今年の1年生は「地域・郷土」をテーマに、東日本大震災による原発事故の影響で本市に避難し、大信地域で窯を構えている大堀相馬焼きの「いかりや商店」で、実際に焼き物づくりを体験しました。

また、地元出身の作家、中山義秀について調べ、その内容を文化祭で発表し、改めて郷土への敬愛の念を深めました。



中山義秀文学館を見学

2年生は「職業」をテーマに、市内にある14の企業や事業所で職場体験学習を行い、自分の適性を知るとともに就労の大変さを学ぶなど、進路について深く考えました。



幼稚園での職場体験学習

3年生は「福祉・健康」をテーマに、福祉施設を訪問し、入所している方々と触れ合う中で、改めて自分が人のために役立てることを実感し、自己存在感を高めました。

今月号は 白河文化交流館 「愛称」を募集!

きょういっ ホット情報 熱!!

■教育関係のホットな情報を皆さんへ

永く愛され、身近で親しみのある施設に

白河文化交流館の愛称を募集します!

白河文化交流館が、市民の皆さんに永く愛され、身近で親しみのある施設になるよう、愛称を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 応募資格**
市内に在住または通学・通勤している方
- 募集期間**
2月2日(月)～3月2日(月)
- 応募方法**
 - ▷**専用の応募用紙を使用する場合**
応募用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函してください。応募用紙および応募箱は、本庁舎文化振興課、各庁舎教育振興課、各行政センターにあります。また、市ホームページからも取得できます。
 - ▷**はがきまたは任意の用紙を使用する場合**
次の事項をすべて記入し、本庁舎文化振興課に持参またはFAX・Eメール・郵送などでご応募ください。
①愛称(ふりがな)、②愛称の理由、③氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、市内に通学・通勤している方は学校名か勤務先名
※いずれか1つでも明記されていない場合は、無効になります。
- 表彰**
 - ▷**最優秀賞**
賞状および副賞として賞金5万円と開館記念事業への招待券を贈呈します。
 - ▷**優秀賞**
賞金1万円と開館記念事業への招待券を贈呈します。
- 受賞者の発表**
受賞者に直接通知するほか、広報白河および市ホームページで発表します。
- その他**
愛称応募に関する詳細は、全戸配布のチラシまたは市ホームページをご覧ください。
- 本庁舎文化振興課** 内2387 / FAX@1143 / Eメール bunkashinko@city.shirakawa.fukushima.jp

りぶらんだより Libran

Movie 映画上映案内

市立図書館りぶらん地域交流会議室で上映される映画です。入場無料です。

- 大人向け 「鉄道員」 ■日時 2月18日(水) 午後6時30分～8時30分
■日時 3月18日(水) 午後6時30分～8時30分

- 子ども向け 「アガサ・クリスティーの名探偵ポワロとマープル」 ■日時 2月21日(土) 午後1時30分～2時30分

Event 催し案内

子どもたちが本を愛するように。

- ちびっこおはなしのくに ■日時 2月19日(水)、3月19日(水) 午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋 ■対象 0歳～3歳程度
- おはなし会 ■日時 2月28日(土)、3月14日(土) 午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋 ■対象 3歳～小学生程度

Exhibition 本の展示

毎月、季節に合わせた本を展示しています。

- 大人の本 「大人のための幕末入門?!」
2月27日は新選組の前身である壬生組が結成された日です。これを機会に幕末を学んでみませんか。そのほか、2月22日は「にゃんにゃん」のごろ合わせで猫の日です。猫の本も集めました。
- 子どもの本 「昔話を楽しもう 日本の昔話・世界の昔話」
日本と世界の昔話や童話を集めました。同じ話でも、文章や絵が違ふことがあります。ぜひ読み比べてみてください。

◎市立図書館 開館時間 平日10:00～20:00
りぶらん 土・日・祝日9:30～18:00
☎3250 ▶休館日 月曜日、第1水曜日
(祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎表郷図書館 開館時間 10:00～18:00
☎4784 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
Event 《おはなし、よんで! (0歳～小学生対象)》
■日時 毎週土曜日/随時

◎大信図書館 開館時間 10:00～18:00
☎3614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
※2月15日(日)は「第20回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」のため臨時休館。

◎東図書館 開館時間 10:00～18:00
☎1130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
Event 《図書館であそぼう! (0歳～7歳対象)》
■日にち 毎日
※視聴覚室使用日を除く

Information 図書館からのお知らせ

特別整理期間のお知らせ

蔵書の状態確認・調査のため、各館ごとに特別整理を行います。期間中は休館となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ①市立図書館 3月1日(日)～3月12日(水) (りぶらん)
- ②表郷図書館 3月11日(水)～17日(火)
- ③大信図書館 3月18日(水)～24日(火)
- ④東図書館 3月25日(水)～31日(火)

- 特別整理期間中にできること
 - 本の返却(館外2か所にあるブックポストをご利用ください)
 - ホームページからの蔵書検索・予約(ただし本の受け取りは、特別整理期間終了後となります)
- 特別整理とは
 - 行方不明の本がないか調べます。
 - 本を正しい位置に戻します。
 - 壊れた本を直します。
 - ほかにも、機器類の保守点検や資料が収まりきらなくなった棚の組み換え、配置換えなどを行います。

快適に利用できる図書館にするための大切な作業です。ご不便をお掛けしますが、ご理解をお願いします。



市立図書館キャラクター

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111/Fax322234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

広報白河広告

平成27年度中に発行する「広報白河」(平成27年4月1日号)〜平成28年3月1日号)に掲載する広告を募集します。なお、公共性を損なう恐れのある広告は掲載できません。

●掲載料 掲載1回につき
▽1枠(縦42mm×横178mm) 2万4千円
▽半枠(縦42mm×横86mm) 1万2千円

●受付開始日時 3月2日(月)

案内

／午前8時30分から ※規定数になり次第締め切ります。

●申込方法 指定の申込書に広告の原稿を添えて、本庁舎秘書広報課へお申し込みください。申込書は、本庁舎秘書広報課で配布しています。また、市ホームページからも取得できます。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎秘書広報課 内2373

アナビススポーツプラザ オープニングイベント

カタールフレンド基金事業を活用して建設した「アナビススポーツプラザ」の開館を記念し、オープニングイベントを行います。

●日時 2月22日(日)／午後1時〜3時

●会場 総合運動公園(北中川原)

●内容 ギネスに挑戦けん玉イベントなど ※250人が参加するけん玉教室を開催することで、ギネス記録に認定されます。また、事前に申し

込みした方(先着250人)にけん玉をプレゼントします。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎生涯学習スポーツ課 内2386

第1期福島県文化 振興財団助成事業

県文化振興財団では、県の文化活動支援を目的として、4月1日から7月31日までにを行う事業を対象に、助成の申請を受け付けています。

●対象事業 成果発表事業、発表会等への参加事業など

●対象者 県内に住所または活動の本拠を有する個人または団体

●受付期限 2月23日(月)まで

●本庁舎文化振興課 内2384

農業委員会委員 選挙人名簿の縦覧

平成27年1月1日現在で調製した「農業委員会委員選挙人名簿」を縦覧します。

登録漏れや記載事項に誤りがないか、ご確認ください。

●期間 2月23日(月)〜3月9日(月)

日(月)

●時間 午前8時30分〜午後5時

●会場 本庁舎選挙管理委員会(5階)

●本庁舎選挙管理委員会事務局 内2510

里親入門講座

里親による子育て支援について学ぶ講座を開催します。

●日時 2月24日(火)／午前10時〜11時30分

●会場 ニコニコこども館(郡山市桑野)

●定員 20人

●申込期限 2月17日(火)まで

●申し込み・問い合わせ先 福島県中児童相談所 ☎024-93510611

被災者生活再建支援金

東日本大震災で被災された方を支援する被災者生活再建支援金(基礎支援金)の申請期間が再延長されます。

●期限 平成28年4月11日(月)まで

●本庁舎生活環境課 内2166



本券一枚で一人様限り

有効期間
平成27年2月1日(日)から
平成27年3月20日(金)まで
(2月12日休、3月11日休・12日休は休園です)



本券一枚で一人様限り

有効期間
平成27年2月1日(日)から
平成27年3月20日(金)まで
(2月12日休、3月11日休・12日休は休園です)



本券一枚で一人様限り

有効期間
平成27年2月1日(日)から
平成27年3月20日(金)まで
(2月12日休、3月11日休・12日休は休園です)



本券一枚で一人様限り

有効期間
平成27年2月1日(日)から
平成27年3月20日(金)まで
(2月12日休、3月11日休・12日休は休園です)



本券一枚で一人様限り

有効期間
平成27年2月1日(日)から
平成27年3月20日(金)まで
(2月12日休、3月11日休・12日休は休園です)

国民健康保険の手 続きを忘れずに

春の異動シーズンを迎えます。就職や転職、市外への転出などで、本市の国民健康保険資格を喪失する場合は、お早めに脱退手続きと保険証の返却をしてください。

なお、資格喪失後に本市の保険証を使用した場合は、後日、本市が負担した医療費を返還していただきます。

※社会保険等に加入した場合は、手続の際に新しい保険証を持参してください。

●本庁舎国保年金課 内2172

住宅用太陽光発電 補助金

今年度の「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」の申請期限は、3月31日(火)までです。補助金の予算残額が少なくなっています。電力事業者との受給契約成立後は、速やかに申請書を提出してください。

また、3月までに設置を予

白河地域の新成人 の皆さんへ

1月11日に開催した白河地域の成人式に出席できなかった方の「成人証書」を保管しています。受け取りを希望する方はご連絡ください。なお、保管期間は3月31日(火)までです。

●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2383

点字のおたより

視覚障がいのある方を対象に、市の広報紙や議会だよりの点字版を無料でお届けしています。希望する方は、お申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

春季火災予防運動

火災が多く発生しやすい時

すまい給付金

消費税の8%への引き上げに伴い住宅購入者の負担を軽減するため、国土交通省では「すまい給付金」制度を実施しています。

受給の条件や支給額、申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

●すまい給付金事務局 ☎057010641186

福島県の最低賃金

平成26年10月4日に、県の最低賃金を改正しました。

●時間額 689円

※産業別最低賃金など、詳しくはホームページをご覧ください。

●福島労働局賃金室 ☎024-536-4604

《入園料》
無料

※呈茶を希望される方は入園時にお申し込みください。(呈茶料：540円)

【開園時間】
午前9時～午後4時30分

☎翠楽苑 ☎236888
(助白河観光物産協会)

《入園料》
無料

※呈茶を希望される方は入園時にお申し込みください。(呈茶料：540円)

【開園時間】
午前9時～午後4時30分

☎翠楽苑 ☎236888
(助白河観光物産協会)

《入園料》
無料

※呈茶を希望される方は入園時にお申し込みください。(呈茶料：540円)

【開園時間】
午前9時～午後4時30分

☎翠楽苑 ☎236888
(助白河観光物産協会)

《入園料》
無料

※呈茶を希望される方は入園時にお申し込みください。(呈茶料：540円)

【開園時間】
午前9時～午後4時30分

☎翠楽苑 ☎236888
(助白河観光物産協会)

《入園料》
無料

※呈茶を希望される方は入園時にお申し込みください。(呈茶料：540円)

【開園時間】
午前9時～午後4時30分

☎翠楽苑 ☎236888
(助白河観光物産協会)

街なか居住を応援します

子育て世代集合住宅家賃補助制度

夫婦のどちらかが満40歳以下の世帯、または満18歳未満の扶養親族と同居する世帯で、新たに市外から中心市街地活性化基本計画区域内の民間賃貸住宅に転入した方を対象に、家賃の一部を補助します。

●補助額 家賃から共益費、駐車場代、勤務先の住宅手当等を引いた額の4分の1(上限は月額で13,000円)

●補助期間 3年間(36ヵ月分)
※補助を受けるには、転入日から3か月以内に補助認定のための申請が必要です。また、交付申請や補助継続の手続きなども必要になります。詳しくはお問い合わせください。
※市ホームページで中心市街地内の空室情報を見ることができます。同ホームページ内で「空室情報」と入力し検索してください。



※太線で囲まれたエリアが補助対象区域です

☎本庁舎まちづくり推進課 内2744

案内

自動車の名義など変更手続きはお早めに

自動車税は、毎年4月1日現在で、車検証に記載されている所有者または使用者に課税されます。送付先に変更がある場合はお問い合わせください。

また、車検証の登録内容に変更がある場合は、3月末までに手続きしてください。

- 自動車税 県南地方振興局 県税部 ☎231519
- 車検証登録内容変更 東北

まちかど伝言板

運輸局福島運輸支局 ☎0501554012015

税に関する無料相談会

東北税理士会白河支部では、税に関する無料相談会を開催します。

《所得税の確定申告無料相談会》

- 日にち 2月16日(月)
- 税理士記念日「税の無料相談会」
- 日にち 2月23日(月)
- 共通事項
- 時間 午前10時～午後4時

女性行政書士による女性のための相談会

●日時 2月21日(出)／午前10時～午後3時 ※予約優先

●会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)

- 内容 離婚、相続その他生活の困りごとに関する相談等(秘密厳守) ※相談は無料
- 予約・問い合わせ先 福島県行政書士会県南支部事務局(真船あい事務所内) ☎251100



『明日への瞳』

白河市長
鈴木 和夫

「今どきの若い者は」の次には、「困ったものだ」がつく。私らも「全共闘世代は理屈をこねまわす」と言われたものだ。でも新しい扉を開けるのは若い力と感性。この数年、若者の意識は変わってきたと思う。格差、高齢化、グローバルの大波。若者を取り巻く環境は険しいが、大昭和祭りや、ゆるキャラ祭りへ参加する若者は素直で明るい。夏休み、白河出身の大学生らが「シラカワ・ウィーク」に取り組んでいる。小中高の生徒との学習を通じた交流やまちなか探検。雇用・教育・地方などを考えるシンポジウムを催す。彼らは誠実に社会と向きあっている。

年末、都内の高校で講演する機会があった。きっかけは本市出身の生徒。白河の災害状況、どう対応したのか、今後どんなまちにしたいのかを話して欲しいという。澄んだ目をして話していた。郁文館という名の高校は、東大赤門から遠くない文京区千駄木にある。このあたりは、夏目漱石や森鷗外、樋口一葉、坪内逍遙らが住んだ。夕暮れどきには、和服姿にステッキで散歩する文士に出逢えるような気がする。

かつて学校の前には、漱石の居宅があり、そこで「我輩は猫である」を書いた。小説には「落雲館」中として登場する。しばしば狭い校庭からボールが飛び込み、気難しい漱石先生は、少々おかんむりだった

ようだ。この家には、以前鷗外も住んでいたというから面白い。郁文とは、文化文明が盛んで香り高い様子をいい「郁々」として文なる哉」との論語に由来する。明治の精神がにじみ出ており、130年の歴史を持つ学校にふさわしい名だ。

講堂には130人ほどの生徒。中高一貫校で最前列に中学生もいる。皆姿勢がいい。壇にあがると、学ぼうとする心が醸し出す。ピンとした空気を感じた。白河の歴史や位置から入り、地すべり・小峰城・住宅の被害、整然と給水所に並ぶ人々。復旧工事、石垣の修復、除染作業をスライドで説明した。津波や原発地のほかにも、これほどの災害があったのかという顔。ぐっと生徒の目が近づいてきた。

日本は災害列島。地震台風を宿命と受け止めてきた。その都度、災いを福に転じようと立ちあがってきた。大事なことは、災害にどう備えるか、どう素早く立ち直るか。そして何を教訓とするか。特に原発事故では文明の苦しみを背負った。ここから何を学ぶかは、人類の将来をも左右する大問題であり、風化させてはならないと話した。ある者は大きくうなずき、ある者は貪るようにペンを走らす。

続いて国や地方の課題へ転じた。膨大な借金、急速な少子化、縮む地方、厳しい外交。私達の前には、身がすくむほどの壁がそびえ立つ。ひと昔前、日本は世界の奇跡と賞賛された。国際環境、働き手の増加、技術革新と発展の条件が揃っていた。だが成功の影に失敗の種が潜む。国の内も外も変わり、新たな視点で政策を転換す

べきなのは分かっているが、そうするには厄介な利害調整を伴い、負担も大きくなる。人も制度もそう簡単には変われない。突破の鍵は何か。それは「人材」。

ドイツの学者の言葉を引用した。「政治とは、情熱と判断力を駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわじわ穴をくりぬくようなもの」。それには、率先して困難に立ち向かう意思と、力を持つ人が欠かせない。何事にもあてはまるが、地方の人口減少対策は特にそうだ。国が地方創生に腰をあげた。県や市は、今年、数値目標の入った政策プランをつくる。自らの頭と足で未来を切り拓く時期がきた。地域の知恵比べ、腕比べが始まったともいえる。

幸い今は、インターネット等の普及で、地方にいても情報格差はない。国内はもとより、世界とつながっている。企業も農家もNPOも、地域に足をつけ、より広い活動や交流ができる。世界的視野から地域を見つめ、足元にある産業や文化的素材を磨き、未来へつなぐ。今こういう「ロカリスム」が求められている。また、先が見えないからこそ、健全な身体と、文化芸術や歴史に親しむ幅の広い人間が必要とも語った。輝く瞳に晴れ晴れとした。

その昔、若者は学生運動で社会に異議を唱えた。今は静かに、しかし深く心に期し、荒波を受け止めようとしている。静かにいく者は遠くまでいく。きっと彼らは、創意と行動で危機を乗り越えるだろう。自分も何らかの形で、好きな白河のために貢献したい。確かな未来がここにある。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。「企業のちから」は、市内の企業やものづくり・人づくりを紹介するコーナーです。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No.34 The company in Shirakawa

(株)白河川島製作所
SHIRAKAWA KAWASHIMA PACKAGING MACHINERY LTD.
住所：大信下新城字中区21-1
事業内容：自動包装機械の製造・加工



100年の伝統と実績で多様なニーズに対応
包装機械業界の老舗メーカー



- 1 主力製品の一部。生産した機械の中には市内のお菓子工場で使用されているものもあります。また、食品以外を包装する機械も数多く製造しています。
- 2 工場外観（第3工場）。そのほか、組立工場と部品加工工場が隣接しています。
- 3 社員の皆さん。毎朝のミーティングで作業の進捗よく状況を確認しています。
- 4 工場内部の様子。安全に配慮し、平成12年にはISO9001を取得しています。
- 5 配線作業の様子。高い技術力で丁寧に機械を組み立てています。
- 6 「水以外のものは包装できます」と話す中山さん。工場建設以来33年間、会社を支えています。

「私たちの会社は、自動包装機械を製造するメーカーです。創業から103年と歴史は古く、これまでに400機種余、43,000台を超える製品を生み出しています」と話す取締役工場長の中山義夫さん。

明治45年に製菓・製鉛機械の製造・販売を始め、その後、自動包装機械の製造を開始、昭和26年に(株)川島製作所（東京都台東区、現在本社は埼玉県草加市）を設立しました。国内にある包装機械業界の中でも長い歴史を有し、その伝統と実績で、大手の企業から個人経営のお店まで多岐に渡るニーズに対応しています。

主力であった草加工場が手ぜまとなったため、交通の利便性から、昭和57年、旧大信村に新たな主力工場を建設。敷地面積は約20,000㎡で社員は45人。ほとんどが地元採用で、地域の雇用にも大きく貢献しています。製造される機械はすべて受注生産で、スーパーやコンビニエンスストアに並んでいるスナック菓子のほか、パンや野菜、箱菓子など、身近なところで目にする様々な種類の商品が、ここでつくられた機械で包装されています。

「技術力と機能、そして安全に配慮した品質にさらに磨きをかけ、多様化するニーズに応じられるように、常に努力していきます」と中山さんにはこやかな笑顔で話してくれました。

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット①

しらかわの贈り物



解説
金勝寺は、小峰城北側の阿武隈川から国道4号の北側に面した地区です。国道4号からは、小峰城と金勝寺の町並みが望めます。

歴史を伝える金勝寺

金勝寺には、中世の時代に結城宗弘の祖父朝広の菩提寺がありました。江戸時代には楽翁公（松平定信）が別荘「一遊亭」を建て、桜を植えたことから「桜山」と呼ばれる場所が今も残っています。また、戊辰戦争時には高台を利用し、火器を設置した場所もあります。明治時代になると一遊亭は、楽翁公を尊敬する旧会津藩家老山川浩が「逸遊亭」と名付け別荘としました（現在は建物は残っていません）。このように、金勝寺は各時代の歴史を感じさせる素晴らしい所です。



ツーリズムガイド白河会員
佐藤善昭さん Sato Yoshiaki

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。☎（公財）白河観光物産協会 ☎1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、「平成27年白河市成人式」の様子です。華やかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人の皆さんは、成人証書を手し、恩師や級友との再会を喜び合いながら、新しい門出を祝っていました。晴れやかな笑顔で大人への一歩を踏み出した皆さんの、これからのご活躍を期待しています。